

# 会社概要・サービス紹介

**Enviapac Research & Consulting  
Company Limited**

# 会社概要

**会社名** **Enviapac Research & Consulting Co., Ltd.**  
 インヴィックス株式会社（東京）による100%出資企業

**住所** No.817, 8F Viwaseen Office Building, 48 To Huu Street, Trung Van Ward, Nam Tu Liem District, Hanoi, Vietnam

**設立** 2024年

**社長** 中里純啓（在東京）

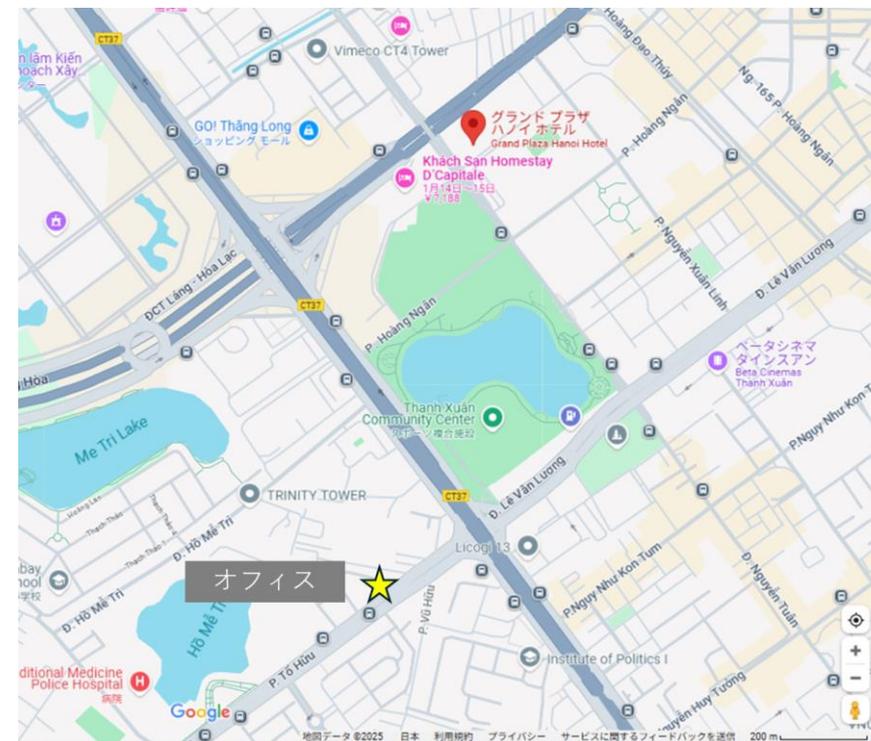
**ディレクター** Dinh Thanh Nghia（在ハノイ）

**電話番号** +84-24-8586-2368

**Eメール** contact@enviapac.com.vn

**ウェブサイト** www.enviapac.com.vn

**事業分野** 環境、化学物質、エネルギー、労働安全衛生、気候変動、持続的発展など



# エンヴィックス・グローバル・ネットワーク

エンヴィックス株式会社 (EnviX, Ltd.) – 1994年設立  
•所在地：東京（日本）  
•代表者：中里 純啓 (Yoshihiro Nakazato)  
•主要事業：海外の環境法規制に関するリサーチ&コンサルティング



# ベトナムにおけるサービス案内

## ■ ベトナムEHS顧問サービス

定期モニタリングレポート、Q&A対応（年間契約）

## ■ ベトナム環境・安全衛生監査支援

チェックリスト販売／現地法規制遵守の監査（書類チェック、工場視察）

## ■ ベトナム化学物質規制対応コンサルティング

年間コンサルティング、化学品リストの作成&規制対象判定、各種規制調査など

## その他のサービス

- ✓ 規制調査・市場調査（環境、化学物質、水資源、エネルギー等）
- ✓ 環境規制に関するセミナー／講習会の開催
- ✓ 環境デューデリジェンス／土壌・地下水調査・対策
- ✓ 温室効果ガス（GHG）インベントリー作成、排出削減実施支援



# ベトナム環境関連サービス

# ベトナムEHS顧問サービス



EHS (Environmental・Health・Safety)  
管理能力及び従業員の意識向上を目的とした  
ベトナム進出企業向けのサービス

※本サービスは、年間契約の定期サポートとなります。



## 定期レポート

- ベトナムにおけるEHS規制の最新動向を毎月  
にまとめて報告（月例ニュースレター）
- レポートの言語：日本語とベトナム語
- 分量：5ページ程度を想定（日越2言語なので合計10ページ程度）



## Q&A対応

- ベトナムのEHS規制に関する質問について回答  
（テレコン、メール）
- Q&Aの範囲：ベトナムEHS規制に限定
- 対応言語：日本語とベトナム語
- 毎月3時間程度のQ&A対応を想定

## 追加サポート対応

- ✓ 言語対応（日本語、英語）
- ✓ EHS書類のレビュー
- ✓ 法規制リストの作成・更新
- ✓ 現場の簡易チェック

# ベトナム環境・安全衛生監査支援サービス

本サービスを通じて、お客様の工場は以下を達成することを目的とします。

- ✓ 環境保護法及び関連法規制の順守状況の評価を行い、不必要な違反を回避
- ✓ 環境リスクと環境事故を未然に防止し、さらに、環境への汚染物質の排出を最小限に抑える対策の提案
- ✓ 現状の廃棄物の適切性と有効性を評価
- ✓ 化学物質および労働安全衛生の管理システムの能力向上と施設の安全面の改善
- ✓ 原材料とエネルギーを効率的に利用、など

※お客様のご要望に合わせて監査のスコープ（分野、チェック項目、対応言語など）について相談可能です。



01

## 環境保護規制順守の調査

- 環境影響評価、環境ライセンス、廃棄物管理、水質、大気、騒音・振動、事故対応計画、年次報告など



02

## 化学物質管理規制順守の調査

- 各種許認可、SDS、ラベル表示、安全訓練、事故対応計画／措置、年次報告、化学品の保管・使用など



03

## 労働安全衛生規制順守の調査

- OHS訓練、労働環境、健康診断、職業病、労働災害、危険作業、電気安全、機械設備安全、防火消防など



04

## その他（省エネ、GHGなど）

- エネルギー消費報告、省エネ計画、エネルギー監査、GHGインベントリ、GHG排出削減計画・報告など

# ベトナム環境監査支援サービス

## 監査のフロー

### 監査前

- 顧客の要望に基づき、対象となる工場向けの環境規制チェックリストを準備（チェックリストは事前に送付するので、工場側は必要事項を回答）
- **チェックリスト**は、対象法令名、条文番号、要求事項、確認すべきエビデンス、罰則等をExcelにまとめる。
- 得られた回答に基づき、監査ポイントを明確化

### 監査

- 書類のチェック（環境影響評価書や排水・有害廃棄物の許可書も含む）
- 環境規制の順守状況確認のための現場監査。例えば、化学品管理、排水処理、有害廃棄物管理等
- 監査完了後の報告会。会議では発表資料を準備し、不順守事項及びその改善対策について説明

### 監査後

- 監査の最終レポートを作成する。本レポートには下記の内容が記載されます。
- EIA、環境ライセンス、および環境保護工事の取得状況
  - 環境規制順守の状況
  - 現場監査の結果にもとづく注意点および推奨事項
  - 不順守事項に対する対策提案および改善計画

## 法規制順守監査用のチェックリスト

- Jp, Vn, Enの3言語で対応可。

Does the factory carry out periodic wastewater monitoring?  
 Subjects required to carry out periodic wastewater monitoring include:  
 a) Dedicated areas for production, business, service and industrial clusters that discharge wastewater into the environment;  
 b) Investment projects and facilities that discharge wastewater into the environment at a large flow rate (> 500m<sup>3</sup>/day (24 hours)).  
 Note: Average flow rate: 200-500m<sup>3</sup>/day; Large flow rate: 500-1000m<sup>3</sup>/day; Very large flow rate: >1000m<sup>3</sup>/day  
 Entities, wastewater discharge flow rates and monitoring methods required to carry out automatic and continuous monitoring of wastewater and periodic monitoring of wastewater are specified in the Appendix XXVIII of the Decree, except for facilities which connect their wastewater to the centralized wastewater treatment system, facilities which discharge cooling water not containing chlorine or disinfectants, etc.  
 a) The entities specified in Column 2 with the discharge rates specified in Column 4 in the Appendix XXVIII must carry out automatic and continuous monitoring of wastewater and periodic monitoring of wastewater as specified in Article 97 Clause 3, 4 of the Decree;  
 b) The entities specified in Column 2 with the discharge rates specified in Column 5 in the Appendix XXVIII shall carry out automatic and continuous monitoring of wastewater or periodic monitoring of wastewater as specified in Article 97 Clause 3, 4 of the Decree.  
 The periodic wastewater monitoring must comply with regulations on time, frequency and parameters; parameters that have been automatically and continuously monitored are not required to be periodically monitored.  
 (Article 111 Clause 2, 4 of Law; Article 97 Clause 1, 2 of Decree)

**排水の定期モニタリングを実施しているか？**  
 定期排水モニタリングを実施しなければならない。対象は以下となる。  
 a) 環境へ排水を排出する集中型製造・取引サービス地区および工業区  
 b) 排水流量(500m<sup>3</sup>/日(24時間)以上)で排水を環境へ排出する投資プロジェクト・施設  
 ※平均流量: 200-500m<sup>3</sup>/日; 大流量: 500-1000m<sup>3</sup>/日; 特大流量: >1000m<sup>3</sup>/日  
 自動連続排水モニタリングおよび定期モニタリングの実施対象となる事業者、排水量、測定方法の詳細は本政令付属書XXVIIIに規定される。但し、集中排水処理システムへ接続する施設、塩素や殺菌剤が含まない冷却水を排出する施設などは除く。  
 a) 付属書 XXVIII の第4項で定める流量の排水を排出する第2項に該当する事業者は、政令第 97 条第 3, 4 項で指定される排水の自動連続モニタリングおよび定期モニタリングを実施しなければならない。  
 b) 付録XXVIIIの第5項で定める流量の排水を排出する第2項に該当する事業者は、政令第97条第3, 4項で指定される排水の自動連続モニタリングまたは定期モニタリングを実施しなければならない。定期排水モニタリングにおける時間、頻度、パラメータは規定に従わなければならない。ただし、自動連続排水モニタリングで測定されたパラメータは、定期モニタリングで測定する必要が無い。(法律第111条第3, 4項、政令第97条第1, 2項)

Does the factory carry out periodic waste water monitoring with proper parameters and frequency?  
 Periodic wastewater monitoring parameters and frequency are specified in the environmental license.

a) Periodic wastewater monitoring parameters and frequency are specified in the environmental license.  
 b) For a p  
 c) Regarding wastewater (Article 97)

**ベトナム環境法規制順守チェックリスト**

項目番号	確認項目	確認結果	規制内容	備考	参照リンク
1	化学物質 化学物質防止-対応計画 化学物質防止-対応計画を策定しているか？	該当113/2017/ND-CP付属書IVに定められた化学物質を製造、貯蔵、取扱い、使用し、貯蔵する化学物質の貯蔵量(定容容量)または化学物質の貯蔵量(定容容量)が500,000リットルを超えるか、または500,000リットルを超える化学物質(化学物質防止-対応計画の対象)を貯蔵しているか、または500,000リットルを超える化学物質(化学物質防止-対応計画の対象)を貯蔵しているか。	化学物質防止-対応計画を策定し、決定(決定の再審査)に更新しなければならない。	化学物質防止-対応計画を策定し、以下の項目に準拠する。 (1) 化学物質防止-対応計画の策定 (2) 化学物質防止-対応計画の公表 (3) 継続的更新の化学物質リスト (政令71/2019/ND-CP、第25条第2, 3項)	(1) 化学物質防止-対応計画策定 (2) 化学物質防止-対応計画公表 (3) 継続的更新の化学物質リスト
2	化学物質 化学物質防止-対応計画 承認された化学物質防止-対応計画の要件を履行しているか？	承認された化学物質防止-対応計画の要件を履行しているか？	承認された化学物質防止-対応計画の要件を履行しなければならない。または化学物質防止-対応計画の要件を履行しない場合は、以下の項目に準拠する。 (1) 化学物質防止-対応計画の策定 (2) 化学物質防止-対応計画の公表 (3) 継続的更新の化学物質リスト (政令71/2019/ND-CP、第25条第2, 3項)	(1) 化学物質防止-対応計画の策定 (2) 化学物質防止-対応計画の公表 (3) 継続的更新の化学物質リスト	(1) 化学物質防止-対応計画の策定 (2) 化学物質防止-対応計画の公表 (3) 継続的更新の化学物質リスト
3	化学物質 化学物質防止-対応計画 化学物質防止-対応計画(定められた化学物質防止計画)を策定しているか？	化学物質防止-対応計画(定められた化学物質防止計画)を策定しているか？	化学物質防止-対応計画(定められた化学物質防止計画)を策定しなければならない。または化学物質防止-対応計画(定められた化学物質防止計画)を策定しない場合は、以下の項目に準拠する。 (1) 化学物質防止-対応計画の策定 (2) 化学物質防止-対応計画の公表 (3) 継続的更新の化学物質リスト (政令71/2019/ND-CP、第25条第2, 3項)	(1) 化学物質防止-対応計画の策定 (2) 化学物質防止-対応計画の公表 (3) 継続的更新の化学物質リスト	(1) 化学物質防止-対応計画の策定 (2) 化学物質防止-対応計画の公表 (3) 継続的更新の化学物質リスト

# ベトナム環境監査支援サービス

## ベトナムのチェックリストの例

2020年環境保護法及び下位法令（環境保護法の複数条項の詳細規定に関する政令08/2022/ND-CP及びその一部改正する政令05/2025/ND-CP、環境保護法の複数条項の施行細則に関する通達02/2022/TT-BTNMT及びその一部改正する通達07/2025/TT-BTNMT）、省エネ法、水資源法、化学品法、労働安全衛生法、防火消防法などをカバー

### Does the factory carry out periodic wastewater monitoring?

Subjects required to carry out periodic wastewater monitoring include:

- a) Dedicated areas for production, business, service and industrial clusters that discharge wastewater into the environment;
- b) Investment projects and facilities that discharge wastewater into the environment at a large flow rate (> 500m<sup>3</sup>/day (24 hours)).

Note: Average flow rate: 200-500m<sup>3</sup>/day; Large flow rate: 500-1000m<sup>3</sup>/day; Very large flow rate: >1000m<sup>3</sup>/day

Entities, wastewater discharge flow rates and monitoring methods required to carry out automatic and continuous monitoring of wastewater and periodic monitoring of wastewater are specified in the Appendix XXVIII of the Decree, except for facilities which connect their wastewater to the centralized wastewater treatment system, facilities which discharge cooling water not containing chlorine or disinfectants, etc.

- a) The entities specified in Column 2 with the discharge rates specified in Column 4 in the Appendix XXVIII must carry out automatic and continuous monitoring of wastewater and periodic monitoring of wastewater as specified in Article 97 Clause 3, 4 of the Decree;
- b) The entities specified in Column 2 with the discharge rates specified in Column 5 in the Appendix XXVIII shall carry out automatic and continuous monitoring of wastewater or periodic monitoring of wastewater as specified in Article 97 Clause 3, 4 of the Decree.

The periodic wastewater monitoring must comply with regulations on time, frequency and parameters; parameters that have been automatically and continuously monitored are not required to be periodically monitored.

(Article 111 Clause 2, 4 of Law; Article 97 Clause 1, 2 of Decree)

### 廃水の定期モニタリングを実施しているか？

定期廃水モニタリングを実施しなければならない対象は以下となる。

- a) 環境へ廃水を排出する集中的製造・取引サービス地区および工業区
- b) 大流量(500m<sup>3</sup>/日(24時間)以上)で廃水を環境へ排出する投資プロジェクト・施設

※平均流量: 200-500m<sup>3</sup>/日; 大流量: 500-1000m<sup>3</sup>/日; 特大流量: >1000m<sup>3</sup>/日

自動連続的廃水モニタリングおよび定期モニタリングの実施対象となる事業者、排水量、測定方法の詳細は本政令付属書XXVIIIに規定される。(但し、集中廃水処理システムへ接続する施設、塩素や殺菌剤が含まない冷却水を排出する施設などは除く。)

- a) 付属書 XXVIII の第4列で定める流量の廃水を排出する第2列に該当する事業者は、政令第 97 条第 3、4 項で指定される排水の自動連続モニタリングおよび定期モニタリングを実施しなければならない。
- b) 付属書 XXVIII の第5列で定める流量の廃水を排出する第2列に該当する事業者は、政令第97条第3、4項で指定される排水の自動連続モニタリングまたは定期モニタリングを実施しなければならない。

定期廃水モニタリングにおける時間、頻度、パラメータは規定に従わなければならない。ただし、自動連続廃水モニタリングで測定されたパラメータは、定期モニタリングで測定する必要が無い。

(法律第111条第2、4項、政令第97条第1、2項)

### Does the factory carry out periodic waste water monitoring with proper parameters and frequency?

a) Periodic wastewater monitoring parameters and frequency are specified in the environmental license.

b) For a project or facilities which is continuously operating, wastewater must be monitored every 03 months in the case which an EIA is required and every 06 months in the other cases.

c) Regarding the parameters such as total organochlorine of pesticides, total organophosphorus of pesticides, total Polychlorinated Biphenyls (PCBs), dioxin and easily absorbed organic halogens (if any), wastewater must be monitored one time per year in all cases.

(Article 97 Clause 3 of Decree)

### 定期廃水モニタリングを適切なパラメータ及び頻度で実施しているか。

定期廃水モニタリングのパラメータと頻度は、環境ライセンスに規定されている。

継続して操業中の環境影響評価(EIA)の対象となるプロジェクト・施設は、3ヶ月ごとに、それ以外の場合は06ヶ月ごとに廃水モニタリングを行わなければならない。

農薬の総有機塩素および総有機リン、総ポリ塩化ビフェニル(PCB)、ダイオキシン、ならびに易吸収性有機)ロゲン(ある場合)のパラメータについては、全ての場合の測定頻度は年に1回となる。

(政令第 97 条第 3 項)

### Does the factory classify the hazardous waste?

Generator of hazardous waste must identify, classify, collect and separately store hazardous waste and not to mix it with non-hazardous waste, avoid causing environmental pollution.

Generator of hazardous waste must immediately classify hazardous waste after the waste is brought into the hazardous waste storage area at the facility or at the point of delivery to a hazardous waste disposal contractor..

Hazardous waste must be identified according to hazardous waste codes, list and thresholds, specified in Appendix III Form 01 of the Circular.

(Article 83 of Law; Article 71 Clause 1 of Decree; Article 35 and Appendix III Form 01 of Circular)

### 有害廃棄物を分類しているか？

有害廃棄物排出者は、有害廃棄物の識別・分類・収集を行い、非有害廃棄物と混合しないように個別に保管し、環境汚染の発生を防止しなければならない。

有害廃棄物排出者は、自らの施設の有害廃棄物保管場所に持ち込む時点、または有害廃棄物処理業者に引き渡す時点で、有害廃棄物を分類しなければならない。

有害廃棄物お通達の付属書III書式01に指定される有害廃棄物コード、リスト、閾値に従って識別されなければならない。

(法律第83条、政令第71条、通達第35条及び付属書III書式01)

### Does the factory store the hazardous waste properly?

Generator of hazardous waste must designate an area for temporary storage of hazardous waste, store hazardous waste in packaging or containers which satisfy environmental protection requirements.

Hazardous waste must be stored in accordance with the following requirements:

- a) Classified hazardous waste must be stored separately;
- b) Hazardous waste must not be mixed with general industrial solid waste;
- c) The storage must not result in release of dust or leakage of liquid waste into the environment;
- d) Hazardous waste must be only stored within 01 year from the date on which it is generated.

In case where such hazardous waste is stored exceeding the aforementioned time limit, due to unavailability of a feasible transport/treatment plan or having not found an appropriate hazardous waste treatment service provider, Generator of hazardous waste must submit annual report on hazardous waste storage at the facility generating it to the provincial environmental protection authority as a separate document or including in the periodic environmental report.

(Article 83 Clause 2 of Law, Article 71 Clause 1 of Decree)

### 有害廃棄物を適切に保管しているか？

有害廃棄物の排出者は、有害廃棄物の一時保管のための場所を設置し、環境保護要件を満たす包装または容器を使用して有害廃棄物を以下の要件に従って保管しなければならない。

- a) 分類された有害廃棄物は、別々に保管されなければならない。
- b) 有害廃棄物は、一般産業固形廃棄物と混同してはならない。
- c) 保管時における、環境中への粉塵の排出や液体廃棄物の流出などを防止する。
- d) 有害廃棄物の保管期限は、発生日から1年とする。

実行可能な輸送・処理計画がない、または適切な有害廃棄物処理業者が見つからないなどの理由で、上記の期限を越えて有害廃棄物が保管される場合、有害廃棄物の排出者は、その発生施設における有害廃棄物の保管に関する年次報告書を、地方の環境保護当局に別の文書として提出するか、または環境保護年次報告書に記載しなければならない。

(法律第83条第2項、政令第71条第1項)



# ベトナム環境監査支援サービス

化学物質規制に限定した  
監査の実施も可能です！

## ベトナムのチェックリストの例

環境保護法、省エネ法、水資源法、**化学品法**、労働安全衛生法、防火消防法などをカバー

各種許認可、事故予防対応措置、年次報告、SDS、ラベル、化学品保管倉庫、取り扱い場所など

**Does the factory carry out periodic wastewater monitoring?**  
Subjects required to carry out periodic wastewater monitoring include:  
a) Dedicated areas for production, business, service and industrial clusters that discharge wastewater into the environment;  
b) Investment projects and facilities that discharge wastewater into the environment at a large flow rate (> 500m<sup>3</sup>/day (24 hours)).  
Note: Average flow rate: 200-500m<sup>3</sup>/day; Large flow rate: 500-1000m<sup>3</sup>/day; Very large flow rate: >1000m<sup>3</sup>/day  
Entities, wastewater discharge flow rates and monitoring methods required to carry out automatic and continuous monitoring of wastewater and periodic monitoring of wastewater are specified in the Appendix XXVIII of the Decree, except for facilities which connect their wastewater to the centralized wastewater treatment system, facilities which discharge cooling water not containing chlorine or disinfectants, etc.  
a) The entities specified in Column 2 with the discharge rates specified in Column 4 in the Appendix XXVIII must carry out automatic and continuous monitoring of wastewater and periodic monitoring of wastewater as specified in Article 97 Clause 3, 4 of the Decree;  
b) The entities specified in Column 2 with the discharge rates specified in Column 5 in the Appendix XXVIII shall carry out automatic and continuous monitoring of wastewater or periodic monitoring of wastewater as specified in Article 97 Clause 3, 4 of the Decree.  
The periodic wastewater monitoring must comply with regulations on time, frequency and parameters; parameters that have been automatically and continuously monitored are not required to be periodically monitored.  
(Article 111 Clause 2, 4 of Law; Article 97 Clause 1, 2 of Decree)

**廃水の定期モニタリングを実施しているか？**  
定期廃水モニタリングを実施しなければならない対象は以下となる。  
a) 環境へ廃水を排出する集中的製造・取引サービス地区および工業区  
b) 大流量(500m<sup>3</sup>/日(24時間以上))で廃水を環境へ排出する投資プロジェクト・施設  
※平均流量: 200-500m<sup>3</sup>/日; 大流量: 500-1000m<sup>3</sup>/日; 特大流量: >1000m<sup>3</sup>/日  
自動連続的廃水モニタリングおよび定期モニタリングの実施対象となる事業者、排水量、測定方法の詳細は本政令付属書XXVIIIに規定される。(但し、集中廃水処理システムへ接続する施設、塩素や殺菌剤が含まない冷却水を排出する施設などは除く。  
a) 付属書 XXVIII の第47条で定める流量の廃水を排出する第2列に該当する事業者は、政令第 97 条第 3、4 項で指定される排水の自動連続モニタリングおよび定期モニタリングを実施しなければならない。  
b) 付属書 XXVIII の第57条で定める流量の廃水を排出する第2列に該当する事業者は、政令第97条第3、4項で指定される排水の自動連続モニタリングまたは定期モニタリングを実施しなければならない。  
定期廃水モニタリングにおける時間、頻度、パラメータは規定に従わなければならない。ただし、自動連続廃水モニタリングで測定されたパラメータは、定期モニタリングで測定する必要が無い。  
(法律第111条第2、4項、政令第97条第1、2項)

**Does the factory carry out periodic waste water monitoring with proper parameters and frequency?**  
a) Periodic wastewater monitoring parameters and frequency are specified in the environmental license.  
b) For a project or facilities which is continuously operating, wastewater must be monitored every 03 months in the case which an EIA is required and every 06 months in the other cases.  
c) Regarding the parameters such as total organochlorine of pesticides, total organophosphorus of pesticides, total Polychlorinated Biphenyls (PCBs), dioxin and easily absorbed organic halogens (if any), wastewater must be monitored one time per year in all cases.  
(Article 97 Clause 3 of Decree)

**定期廃水モニタリングを適切なパラメータ及び頻度で実施しているか。**  
定期廃水モニタリングのパラメータと頻度は、環境ライセンスに規定されている。  
継続して操業中の環境影響評価(EIA)の対象となるプロジェクト・施設は、3ヶ月ごとに、それ以外の場合は06ヶ月ごとに廃水モニタリングを行わなければならない。  
農業の総有機塩素および総有機リン、総ポリ塩化ビフェニル(PCB)、ダイオキシン、ならびに易吸収性有機)ロゲン(ある場合)のパラメータについては、全ての場合の測定頻度は年に1回となる。  
(政令第 97 条第 3 項)

**Does the factory classify the hazardous waste?**  
Generator of hazardous waste must identify, classify, collect and separately store hazardous waste and not to mix it with non-hazardous waste, avoid causing environmental pollution.  
Generator of hazardous waste must immediately classify hazardous waste after the waste is brought into the hazardous waste storage area at the facility or at the point of delivery to a hazardous waste disposal contractor..  
Hazardous waste must be identified according to hazardous waste codes, list and thresholds, specified in Appendix III Form 01 of the Circular.  
(Article 83 of Law; Article 71 Clause 1 of Decree; Article 35 and Appendix III Form 01 of Circular)

**有害廃棄物を分類しているか？**  
有害廃棄物排出者は、有害廃棄物の識別・分類・収集を行い、非有害廃棄物と混合しないように個別に保管し、環境汚染の発生を防止しなければならない。  
有害廃棄物排出者は、自らの施設の有害廃棄物保管場所に持ち込む時点、または有害廃棄物処理業者へ引き渡す時点で、有害廃棄物を分類しなければならない。  
有害廃棄物と関連する付属書III書式01に指定される有害廃棄物コード、リスト、閾値に従って識別されなければならない。  
(法律第83条、政令第71条、通達第35条及び付属書III書式01)

**Does the factory store the hazardous waste properly?**  
Generator of hazardous waste must designate an area for temporary storage of hazardous waste, store hazardous waste in packaging or containers which satisfy environmental protection requirements.  
Hazardous waste must be stored in accordance with the following requirements:  
a) Classified hazardous waste must be stored separately;  
b) Hazardous waste must not be mixed with general industrial solid waste;  
c) The storage must not result in release of dust or leakage of liquid waste into the environment;  
d) Hazardous waste must be only stored within 01 year from the date on which it is generated.  
In case where such hazardous waste is stored exceeding the aforementioned time limit, due to unavailability of a feasible transport/treatment plan or having not found an appropriate hazardous waste treatment service provider, Generator of hazardous waste must submit annual report on hazardous waste storage at the facility generating it to the provincial environmental protection authority as a separate document or including in the periodic environmental report.  
(Article 83 Clause 2 of Law, Article 71 Clause 1 of Decree)

**有害廃棄物を適切に保管しているか？**  
有害廃棄物の排出者は、有害廃棄物の一時保管のための場所を設置し、環境保護要件を満たす包装または容器を使用して有害廃棄物を以下の要件に従って保管しなければならない。  
a) 分類された有害廃棄物は、別々に保管されなければならない。  
b) 有害廃棄物は、一般産業固形廃棄物と混同してはならない。  
c) 保管時における、環境中への粉塵の排出や液体廃棄物の流出などを防止する。  
d) 有害廃棄物の保管期限は、発生日から1年とする。  
実行可能な輸送・処理計画がない、または適切な有害廃棄物処理業者が見つからないなどの理由で、上記の期限を越えて有害廃棄物が保管される場合、有害廃棄物の排出者は、その発生施設における有害廃棄物の保管に関する年次報告書を、地方の環境保護当局に別の文書として提出するか、または環境保護年次報告書に記載しなければならない。  
(法律第83条第2項、政令第71条第1項)

# ベトナム環境監査支援サービス

労働安全・防災に限定した  
監査の実施も可能です！

## ベトナムのチェックリストの例

環境保護法、省エネ法、水資源法、化学品法、**労働安全衛生法、防火消防法**などをカバー

**労働安全訓練、労働環境、健康診断、職業病、労働災害、危険作業、電気安全、機械設備安全、防火消防など**

### Does the factory carry out periodic wastewater monitoring?

Subjects required to carry out periodic wastewater monitoring include:

- a) Dedicated areas for production, business, service and industrial clusters that discharge wastewater into the environment;
- b) Investment projects and facilities that discharge wastewater into the environment at a large flow rate (> 500m<sup>3</sup>/day (24 hours)).

Note: Average flow rate: 200-500m<sup>3</sup>/day; Large flow rate: 500-1000m<sup>3</sup>/day; Very large flow rate: >1000m<sup>3</sup>/day

Entities, wastewater discharge flow rates and monitoring methods required to carry out automatic and continuous monitoring of wastewater and periodic monitoring of wastewater are specified in the Appendix XXVIII of the Decree, except for facilities which connect their wastewater to the centralized wastewater treatment system, facilities which discharge cooling water not containing chlorine or disinfectants, etc.

a) The entities specified in Column 2 with the discharge rates specified in Column 4 in the Appendix XXVIII must carry out automatic and continuous monitoring of wastewater and periodic monitoring of wastewater as specified in Article 97 Clause 3, 4 of the Decree;

b) The entities specified in Column 2 with the discharge rates specified in Column 5 in the Appendix XXVIII shall carry out automatic and continuous monitoring of wastewater or periodic monitoring of wastewater as specified in Article 97 Clause 3, 4 of the Decree.

The periodic wastewater monitoring must comply with regulations on time, frequency and parameters; parameters that have been automatically and continuously monitored are not required to be periodically monitored.

(Article 111 Clause 2, 4 of Law; Article 97 Clause 1, 2 of Decree)

### 廃水の定期モニタリングを実施しているか？

定期廃水モニタリングを実施しなければならない対象は以下となる。

a) 環境へ廃水を排出する集中的製造・取引サービス地区および工業区

b) 大流量(500m<sup>3</sup>/日(24時間以上))で廃水を環境へ排出する投資プロジェクト・施設

※平均流量: 200-500m<sup>3</sup>/日; 大流量: 500-1000m<sup>3</sup>/日; 特大流量: >1000m<sup>3</sup>/日

自動連続的廃水モニタリングおよび定期モニタリングの実施対象となる事業者、排水量、測定方法の詳細は本政令付属書XXVIIIに規定される。(但し、集中廃水処理システムへ接続する施設、塩素や殺菌剤が含まない冷却水を排出する施設などは除く。)

a) 付属書 XXVIII の第497で定める流量の廃水を排出する第297に該当する事業者は、政令第97条第3、4項で指定される排水の自動連続モニタリングおよび定期モニタリングを実施しなければならない。

b) 付属書XXVIIIの第501で定める流量の廃水を排出する第297に該当する事業者は、政令第97条第3、4項で指定される排水の自動連続モニタリングまたは定期モニタリングを実施しなければならない。定期廃水モニタリングにおける時間、頻度、パラメータは規定に従わなければならない。ただし、自動連続廃水モニタリングで測定されたパラメータは、定期モニタリングで測定する必要が無い。

(法律第111条第2、4項、政令第97条第1、2項)

### Does the factory carry out periodic waste water monitoring with proper parameters and frequency?

a) Periodic wastewater monitoring parameters and frequency are specified in the environmental license.

b) For a project or facilities which is continuously operating, wastewater must be monitored every 03 months in the case which an EIA is required and every 06 months in the other cases.

c) Regarding the parameters such as total organochlorine of pesticides, total organophosphorus of pesticides, total Polychlorinated Biphenyls (PCBs), dioxin and easily absorbed organic halogens (if any), wastewater must be monitored one time per year in all cases.

(Article 97 Clause 3 of Decree)

### 定期廃水モニタリングを適切なパラメータ及び頻度で実施しているか。

定期廃水モニタリングのパラメータと頻度は、環境ライセンスに規定されている。

継続して操業中の環境影響評価(EIA)の対象となるプロジェクト・施設は、3ヶ月ごとに、それ以外の場合は06ヶ月ごとに廃水モニタリングを行わなければならない。

農薬の総有機塩素および総有機リン、総ポリ塩化ビフェニル(PCB)、ダイオキシン、ならびに易吸収性有機)ロゲン(ある場合)のパラメータについては、全ての場合の測定頻度は年に1回となる。

(政令第97条第3項)

### Does the factory classify the hazardous waste?

Generator of hazardous waste must identify, classify, collect and separately store hazardous waste and not to mix it with non-hazardous waste, avoid causing environmental pollution.

Generator of hazardous waste must immediately classify hazardous waste after the waste is brought into the hazardous waste storage area at the facility or at the point of delivery to a hazardous waste disposal contractor..

Hazardous waste must be identified according to hazardous waste codes, list and thresholds, specified in Appendix III Form 01 of the Circular.

(Article 83 of Law; Article 71 Clause 1 of Decree; Article 35 and Appendix III Form 01 of Circular)

### 有害廃棄物を分類しているか？

有害廃棄物排出者は、有害廃棄物の識別・分類・収集を行い、非有害廃棄物と混合しないように個別に保管し、環境汚染の発生を防止しなければならない。

有害廃棄物排出者は、自らの施設の有害廃棄物保管場所に持ち込む時点、または有害廃棄物処理業者に引き渡す時点で、有害廃棄物を分類しなければならない。

有害廃棄物と関連する付属書III書式01に指定される有害廃棄物コード、リスト、閾値に従って識別されなければならない。

(法律第83条、政令第71条、通達第35条及び付属書III書式01)

### Does the factory store the hazardous waste properly?

Generator of hazardous waste must designate an area for temporary storage of hazardous waste, store hazardous waste in packaging or containers which satisfy environmental protection requirements.

Hazardous waste must be stored in accordance with the following requirements:

- a) Classified hazardous waste must be stored separately;
- b) Hazardous waste must not be mixed with general industrial solid waste;
- c) The storage must not result in release of dust or leakage of liquid waste into the environment;
- d) Hazardous waste must be only stored within 01 year from the date on which it is generated.

In case where such hazardous waste is stored exceeding the aforementioned time limit, due to unavailability of a feasible transport/treatment plan or having not found an appropriate hazardous waste treatment service provider, Generator of hazardous waste must submit annual report on hazardous waste storage at the facility generating it to the provincial environmental protection authority as a separate document or including in the periodic environmental report.

(Article 83 Clause 2 of Law, Article 71 Clause 1 of Decree)

### 有害廃棄物を適切に保管しているか？

有害廃棄物の排出者は、有害廃棄物の一時保管のための場所を設置し、環境保護要件を満たす包装または容器を使用して有害廃棄物を以下の要件に従って保管しなければならない。

- a) 分類された有害廃棄物は、別々に保管されなければならない。
- b) 有害廃棄物は、一般産業固形廃棄物と混同してはならない。
- c) 保管時における、環境中への粉塵の排出や液体廃棄物の流出などを防止する。
- d) 有害廃棄物の保管期間は、発生日から1年とする。

実行可能な輸送・処理計画がない、または適切な有害廃棄物処理業者が見つからないなどの理由で、上記の期限を越えて有害廃棄物が保管される場合、有害廃棄物の排出者は、その発生施設に於ける有害廃棄物の保管に関する年次報告書を、地方の環境保護当局に別の文書として提出するか、または環境保護年次報告書に記載しなければならない。

(法律第83条第2項、政令第71条第1項)

# ベトナム環境監査支援サービス

## 現地環境監査支援

- チェックリストを活用して、現地環境監査を実施いたします。



ご相談・お問い合わせ

- 対象施設、関心事項について概要を把握
- 当社で対応の可否を検討



事前打ち合わせ

- 施設・関心事項の詳細確認
- 主要調査項目、側面の確認等



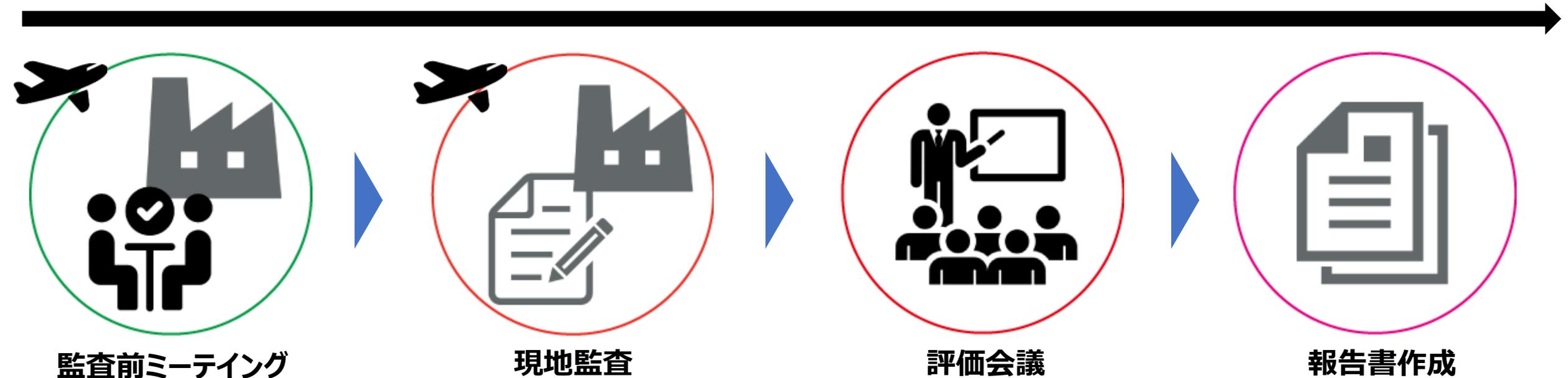
事前アンケート  
チェックリスト確認

- 監査に必要な情報についてアンケート
- 監査で用いるチェックリストの内容（準拠法等）を調整・確認

# ベトナム環境監査支援サービス

## 現地環境監査支援

■ チェックリストを活用して、現地環境監査を実施いたします。



- 既存の許認可証等書類の事前確認や、監査手順、監査対象施設などの再確認

- チェックリストを用いて、文書/工程のチェック/ヒアリングによる各種遵守要件をチェック

- 法令適合/不適合の内容の確認
- 改善提案について会議

- 監査結果、不適合の内容、場所、重大性、準拠法、改善内容、そのスケジュール等について整理

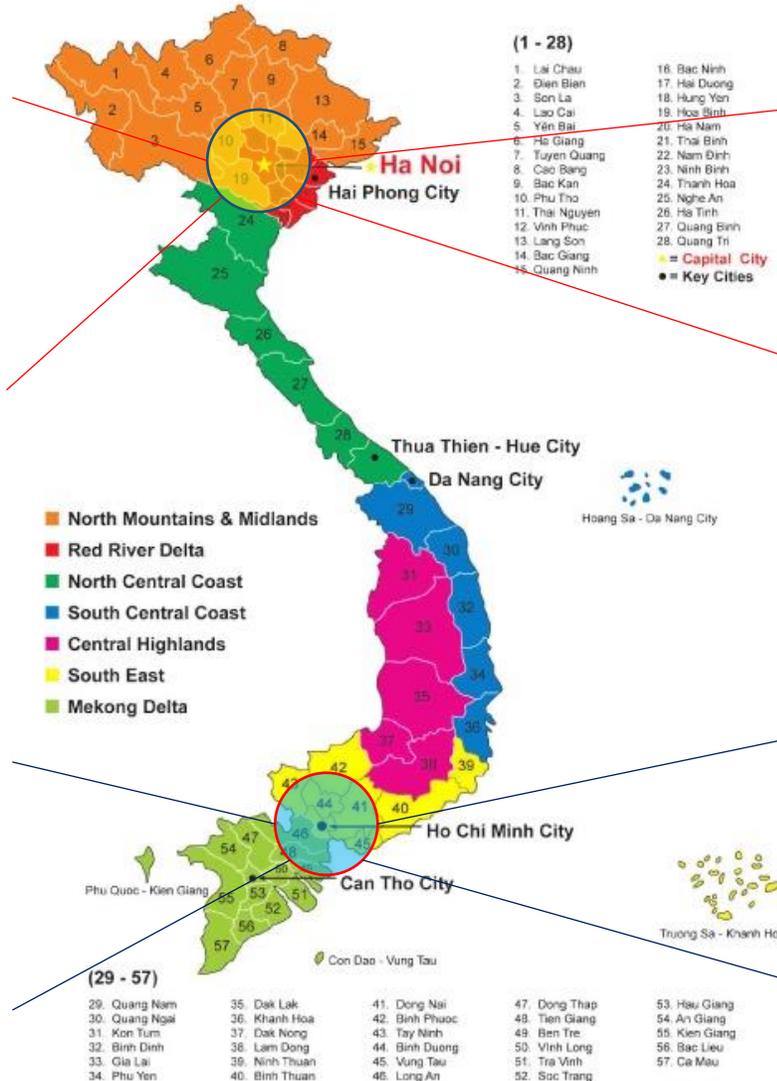
# ベトナム環境監査支援サービス

**電子機器メーカー 1 工場  
(環境・安全監査)**

**機械部品メーカー 1 工場  
(労働安全衛生監査)**

**鉄鋼系製品メーカー 2 工場  
(環境監査)**

**化学品メーカー 1 工場  
(化学物質監査)**



**医療機器メーカー 2 工場  
(環境・化学物質監査)**

**包装材メーカー 3 工場  
(環境監査)**

**機械部品メーカー 2 工場  
(労働安全衛生監査)**

**包装メーカー 5 工場  
(環境監査)**

## その他の環境コンサルティング

### 環境デューデリジェンス（EDD）



新規工場建設、企業買収（M&A）、事業継続計画（BCP）不動産取引、証券化などに際し、土壤汚染のような土地建物の環境上のリスクを明らかにするための調査です。

### 土壌・地下水の調査・対策



工場進出に際し事前に土壌・地下水の調査を行い、状況を把握しておくことが一般化しています。また、土地取引、ISO環境管理、資産評価のための土壌・地下水調査も増えています。

**経験豊富な専門家・パートナーと協力して土壌・地下水の調査は対応可能！**



# ベトナム化学物質規制に特化した支援

# ベトナム化学物質規制対応コンサルティングサービス

**ベトナム化学物質の順守、貴社での管理に違反がないようにサポートします。**

※「定期コンサルティング」と「スポットコンサルティング」は、別のサービスとなります。予めご了承ください。

## 定期コンサルティング

※定期コンサルティングは年間契約となります。契約料金は36万円(税別)。

項目	詳細内容
<b>四半期毎のレポート</b> <small>(次ページにサンプルを掲載)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナムにおける化学物質規制の最新動向を3か月毎にまとめて報告</li> <li>レポートの言語：日本語とベトナム語</li> <li>分量：6ページ程度を想定（日越2言語なので合計12ページ程度）</li> </ul>
<b>Q&amp;A対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナムの化学物質規制に関する質問について回答（テレコン、メール）</li> <li>Q&amp;Aの範囲：ベトナムの化学物質規制、税関（輸出入）に限定</li> <li>対応言語：<u>日本語</u>とベトナム語</li> <li>毎月<b>2時間</b>程度のQ&amp;A対応を想定</li> </ul>

## スポットコンサルティング

※以下はスポットコンサルティングの一例です。内容に応じて個別にお見積りします。

- ✓ 各種化学物質規制に関する簡易調査
  - ✓ 製造／取引ライセンス取得に向けたアドバイザリー
  - ✓ 安全データシート（SDS）、化学品ラベルのチェック・修正
  - ✓ 化学品事故予防対応措置、年次報告の作成のサポート
  - ✓ 化学物質規制対応に向けた社内管理体制の構築支援
  - ✓ 現地スタッフ向けの化学物質規制に関する研修
  - ✓ **取り扱い化学品リストの作成と規制対象判定サービス**
  - ✓ **簡易監査（例：年1回顧客の工場に訪問し、半日程度現地担当者にヒアリング、書類チェック、現場チェック、是正ポイントなどをまとめた報告書の作成）**
- ・・・etc.

# ベトナム化学物質規制対応コンサルティングサービス

## 四半期レポート（サンプル）

### ベトナム化学物質規制動向 四半期レポート 2022 年 Q4 (2022 年 10 月～12 月)

#### 目次

- [1. ベトナム、化学品法の詳細に関する政令を一部改正する政令 2022 年 82 号を公布](#)
- [2. ベトナム、化学品法を実施するための通達を一部改正する通達 17/2022/TT-BCT を公布](#)
- [3. ベトナム、使用可能および使用禁止となる農薬リストを公布](#)
- [4. ベトナム、化学品法の改正案に対する各省庁からのコメントを公開](#)
- [5. ベトナム、化学品メーカーを対象とした化学物質規制検査の結果を公開](#)
- [6. 企業に対する留意点のまとめ](#)

#### 1. ベトナム、化学品法の詳細に関する政令を一部改正する政令 2022 年 82 号を公布

ベトナム政府は、2022 年 10 月 18 日、「『化学品法の詳細に関する政令 113/2017/ND-CP』の複数条項の改正・補足に関する政令 82/2022/ND-CP」（以下、本政令）を公布した。本政令は、政令 113/2017/ND-CP の内容を一部改正するもので、規制物質の追加、輸入時に特別な管理が必要となる化学品の指定、各種ライセンスの申請書類の簡略化、混合物における濃度裾切値の設定、工業用前駆物質管

### Consulting Service on Vietnam Chemical Regulations Monitoring Report Vol. 2022-04

#### Table of contents

- [1. Vietnam revises detailed regulations for Law on Chemicals](#)
- [2. Vietnam issues circular to amend implementation regulations for Law on Chemicals](#)
- [3. Vietnam releases draft revision of Law on Chemicals, plans to implement it in 2025](#)
- [4. Vietnam publishes comments from ministries on draft revision of Law on Chemicals](#)

#### 1. Vietnam revises detailed regulations for Law on Chemicals

On October 18, 2021, Vietnam's government issued a decree (Decree No. 82/2022/ND-CP) that revised Decree No. 113/2017/ND-CP specifying and providing guidelines for implementing specific articles of the Law on Chemicals.

This revision adds to the list of regulated substances, specifies chemicals that require special management for import, simplifies the document requirements for license application, sets a limit on impurity content in chemicals, simplifies the management of industrial precursor substances, makes changes to GHS hazard classifications, changes the

# ベトナム化学物質規制対応コンサルティングサービス

## 規制対象化学品の判定サービス

CHEMICAL LIST																					
No.	Product name	Use	UN	GHS Classification	Category	Component name	CAS RN	Concentration (%)	Molecular formula	Annex I	Annex II	Annex III	Annex IV	Annex V	Industrial precursor	Conditional chemical	Restricted chemical	Prohibited chemical	Chemical required incident prevention and response plan	Declared chemical	Industrial precursor
1	ABC	Solvent	1263 (Class 3)	Flammable liquids (Chất lỏng dễ cháy)	2	toluene	108-88-3	45	C7H8	✓	x	x	x	x	✓	○				○	○
				Acute toxicity (Vapours)	4	2-Propanol	67-63-0	10-20	C3H8O	✓	x	x	x	✓	x						
				Skin corrosion/irritation (Ấn mòn/kích ứng)	2	1-butanol	71-36-3	5-10	C4H10O	✓	x	x	x	✓	x						
				Serious eye damage/eye irritation (Tổn thương mắt nghiêm trọng)	2	methylethyl ketone	78-93-3	20	C4H8O	✓	x	x	x	x	✓						
				*****	*****	*****	*****	*****	*****												

STEP 1

化学品の基本情報（用途、成分名、CAS、含有量、化学式、GHSに基づく危険有害性など）

STEP 2

規制物質リストの該当有無のチェック

STEP 3

規制対象化学品に該当するか否かの判定

### お客様への納品物

- 取り扱う化学品の**分類リスト**（情報管理用としての役割も兼ねる）
- 規制対象化学品に関する**法的要求事項**をまとめたレポート



条件化学品、制限化学品、禁止化学品、申告化学品、前駆物質、指定化学物質など

# ベトナム化学物質監査サービス

**製造企業だけではなく、商社にも対応可能！**

化学物質規制に限定した  
監査の実施も可能です！

環境保護法、省エネ法、水資源法、**化学品法**、労働安全衛生法、防火消防法などをカバー

各種許認可、事故予防対応措置、年次報告、SDS、ラベル、化学品保管倉庫、取り扱い場所など

#### Does the factory carry out periodic wastewater monitoring?

Subjects required to carry out periodic wastewater monitoring include:

- a) Dedicated areas for production, business, service and industrial clusters that discharge wastewater into the environment;
- b) Investment projects and facilities that discharge wastewater into the environment at a large flow rate (> 500m<sup>3</sup>/day (24 hours)).

Note: Average flow rate: 200-500m<sup>3</sup>/day; Large flow rate: 500-1000m<sup>3</sup>/day; Very large flow rate: >1000m<sup>3</sup>/day

Entities, wastewater discharge flow rates and monitoring methods required to carry out automatic and continuous monitoring of wastewater and periodic monitoring of wastewater are specified in the Appendix XXVIII of the Decree, except for facilities which connect their wastewater to the centralized wastewater treatment system, facilities which discharge cooling water not containing chlorine or disinfectants, etc.

a) The entities specified in Column 2 with the discharge rates specified in Column 4 in the Appendix XXVIII must carry out automatic and continuous monitoring of wastewater and periodic monitoring of wastewater as specified in Article 97 Clause 3, 4 of the Decree;

b) The entities specified in Column 2 with the discharge rates specified in Column 5 in the Appendix XXVIII shall carry out automatic and continuous monitoring of wastewater or periodic monitoring of wastewater as specified in Article 97 Clause 3, 4 of the Decree.

The periodic wastewater monitoring must comply with regulations on time, frequency and parameters; parameters that have been automatically and continuously monitored are not required to be periodically monitored.

(Article 111 Clause 2, 4 of Law; Article 97 Clause 1, 2 of Decree)

#### 廃水の定期モニタリングを実施しているか？

定期廃水モニタリングを実施しなければならない対象は以下となる。

a) 環境へ廃水を排出する集中的製造・取引サービス地区および工業区

b) 大流量(500m<sup>3</sup>/日(24時間以上))で廃水を環境へ排出する投資プロジェクト・施設

※平均流量: 200-500m<sup>3</sup>/日; 大流量: 500-1000m<sup>3</sup>/日; 特大流量: >1000m<sup>3</sup>/日

自動連続的廃水モニタリングおよび定期モニタリングの実施対象となる事業者、排水量、測定方法の詳細は本政令付属書XXVIIIに規定される。(但し、集中廃水処理システムへ接続する施設、塩素や殺菌剤が含まない冷却水を排出する施設などは除く。)

a) 付属書 XXVIII の第49項で定める流量の廃水を排出する第2項に該当する事業者は、政令第97条第3、4項で指定される排水の自動連続モニタリングおよび定期モニタリングを実施しなければならない。

b) 付属書XXVIIIの第50項で定める流量の廃水を排出する第2項に該当する事業者は、政令第97条第3、4項で指定される排水の自動連続モニタリングまたは定期モニタリングを実施しなければならない。定期廃水モニタリングにおける時間、頻度、パラメータは規定に従わなければならない。ただし、自動連続廃水モニタリングで測定されたパラメータは、定期モニタリングで測定する必要が無い。

(法律第111条第2、4項、政令第97条第1、2項)

#### Does the factory carry out periodic waste water monitoring with proper parameters and frequency?

a) Periodic wastewater monitoring parameters and frequency are specified in the environmental license.

b) For a project or facilities which is continuously operating, wastewater must be monitored every 03 months in the case which an EIA is required and every 06 months in the other cases.

c) Regarding the parameters such as total organochlorine of pesticides, total organophosphorus of pesticides, total Polychlorinated Biphenyls (PCBs), dioxin and easily absorbed organic halogens (if any), wastewater must be monitored one time per year in all cases.

(Article 97 Clause 3 of Decree)

#### 定期廃水モニタリングを適切なパラメータ及び頻度で実施しているか。

定期廃水モニタリングのパラメータと頻度は、環境ライセンスに規定されている。

継続して操業中の環境影響評価(EIA)の対象となるプロジェクト・施設は、3ヶ月ごと、それ以外の場合は06ヶ月ごとに廃水モニタリングを行わなければならない。

農薬の総有機塩素および総有機リン、総ポリ塩化ビフェニル(PCB)、ダイオキシン、ならびに易吸収性有機)ロゲン(ある場合)のパラメータについては、全ての場合の測定頻度は年に1回となる。

(政令第97条第3項)

#### Does the factory classify the hazardous waste?

Generator of hazardous waste must identify, classify, collect and separately store hazardous waste and not to mix it with non-hazardous waste, avoid causing environmental pollution.

Generator of hazardous waste must immediately classify hazardous waste after the waste is brought into the hazardous waste storage area at the facility or at the point of delivery to a hazardous waste disposal contractor..

Hazardous waste must be identified according to hazardous waste codes, list and thresholds, specified in Appendix III Form 01 of the Circular.

(Article 83 of Law; Article 71 Clause 1 of Decree; Article 35 and Appendix III Form 01 of Circular)

#### 有害廃棄物を分類しているか？

有害廃棄物排出者は、有害廃棄物の識別・分類・収集を行い、非有害廃棄物と混合しないように個別に保管し、環境汚染の発生を防止しなければならない。

有害廃棄物排出者は、自らの施設の有害廃棄物保管場所に持ち込む時点、または有害廃棄物処理業者へ引き渡す時点で、有害廃棄物を分類しなければならない。

有害廃棄物と関連する付属書III書式01に指定される有害廃棄物コード、リスト、閾値に従って識別されなければならない。

(法律第83条、政令第71条、通達第35条及び付属書III書式01)

#### Does the factory store the hazardous waste properly?

Generator of hazardous waste must designate an area for temporary storage of hazardous waste, store hazardous waste in packaging or containers which satisfy environmental protection requirements.

Hazardous waste must be stored in accordance with the following requirements:

- a) Classified hazardous waste must be stored separately;
- b) Hazardous waste must not be mixed with general industrial solid waste;
- c) The storage must not result in release of dust or leakage of liquid waste into the environment;
- d) Hazardous waste must be only stored within 01 year from the date on which it is generated.

In case where such hazardous waste is stored exceeding the aforementioned time limit, due to unavailability of a feasible transport/treatment plan or having not found an appropriate hazardous waste treatment service provider, Generator of hazardous waste must submit annual report on hazardous waste storage at the facility generating it to the provincial environmental protection authority as a separate document or including in the periodic environmental report.

(Article 83 Clause 2 of Law, Article 71 Clause 1 of Decree)

#### 有害廃棄物を適切に保管しているか？

有害廃棄物の排出者は、有害廃棄物の一時保管のための場所を設置し、環境保護要件を満たす包装または容器を使用して有害廃棄物を以下の要件に従って保管しなければならない。

- a) 分類された有害廃棄物は、別々に保管されなければならない。
- b) 有害廃棄物は、一般産業固形廃棄物と混同してはならない。
- c) 保管時における、環境中への粉塵の排出や液体廃棄物の流出などを防止する。
- d) 有害廃棄物の保管期限は、発生日から1年とする。

実行可能な輸送・処理計画がない、または適切な有害廃棄物処理業者が見つからないなどの理由で、上記の期限を越えて有害廃棄物が保管される場合、有害廃棄物の排出者は、その発生施設に於ける有害廃棄物の保管に関する年次報告書を、地方の環境保護当局に別の文書として提出するか、または環境保護年次報告書に記載しなければならない。

(法律第83条第2項、政令第71条第1項)

# ベトナム化学物質規制対応コンサルティングサービス

## 各種ライセンス取得に向けたコンサルティング

製造または取引を開始する前に、対象物質及び有害性にもとづき、代表的には以下のライセンスの取得が必要となる。

### ①工業分野の条件付き製造・取引対象化学品（条件付き化学品）の製造・取引資格証明書

(Giấy chứng nhận đủ điều kiện sản xuất, kinh doanh hóa chất sản xuất, kinh doanh có điều kiện trong lĩnh vực công nghiệp)

### ②工業分野の製造・取引制限化学品（制限化学品）の製造・取引許可書

(Giấy phép sản xuất, kinh doanh hóa chất hạn chế sản xuất, kinh doanh trong lĩnh vực công nghiệp)

化学品の製造・取引施設の**場所**または化学品の**形態、規模（数量）、種類**に変更がある場合、**変更申請が必要となる！**

## 規制対象化学品の判定

- 規制対象化学品の特定・分類

⇒主に、政令113/2017/ND-CPのAnnex I、II（政令82/2022/2022による一部改正）にもとづく。

## ライセンス申請準備のサポート

- 申請に向けて最低限把握しなければならない準備及び要件（化学品倉庫、安全担当者、安全データシートなど）
- 申請書類一覧表の作成
- 各種書類の様式、作成時のアドバイスなど

## 申請時のコンサルティング

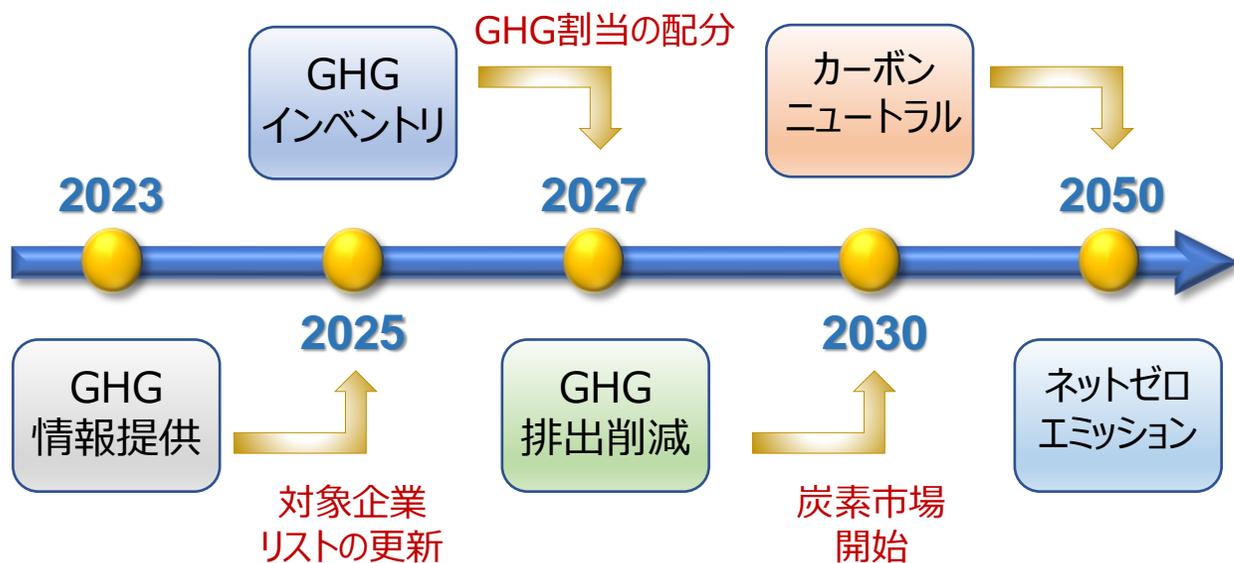
- 自社で申請する際（またはローカル業者を通じて申請の場合）、また当局による審査時に、社内外のコミュニケーションにおけるお困り事について、適宜アドバイスとサポートいたします。

※本サービスは主に化学品ライセンスの申請の準備及び申請手続きに関するアドバイスであり、代行申請を対応いたしません。

# ベトナムGHG規制コンサルティング

# GHGインベントリおよび排出削減支援サービス

## ベトナム気候変動規制の強化



**ベトナム政府首相決定**で定める対象となる企業に対しては、GHGインベントリおよびGHG排出削減が法律で義務付けられています。

## GHG排出削減への国際的取り組み



国際潮流に合わせて生産プロセスにおけるGHG排出管理の要求は、多岐渡って年々厳格化しています。

# GHGインベントリおよび排出削減支援サービス

**お客様工場のGHGインベントリおよびGHG排出削減を支援いたします。**

現地工場におけるGHGインベントリおよびGHG排出削減の実施に向けて以下の要件を満たすようにトータルサポートいたします。

- ✓ ベトナムの法的義務
- ✓ サプライチェーン、エンドユーザーの要求、など



**低炭素社会の実現および持続可能な発展に向けた  
トータル・コンサルティングサービスです！**

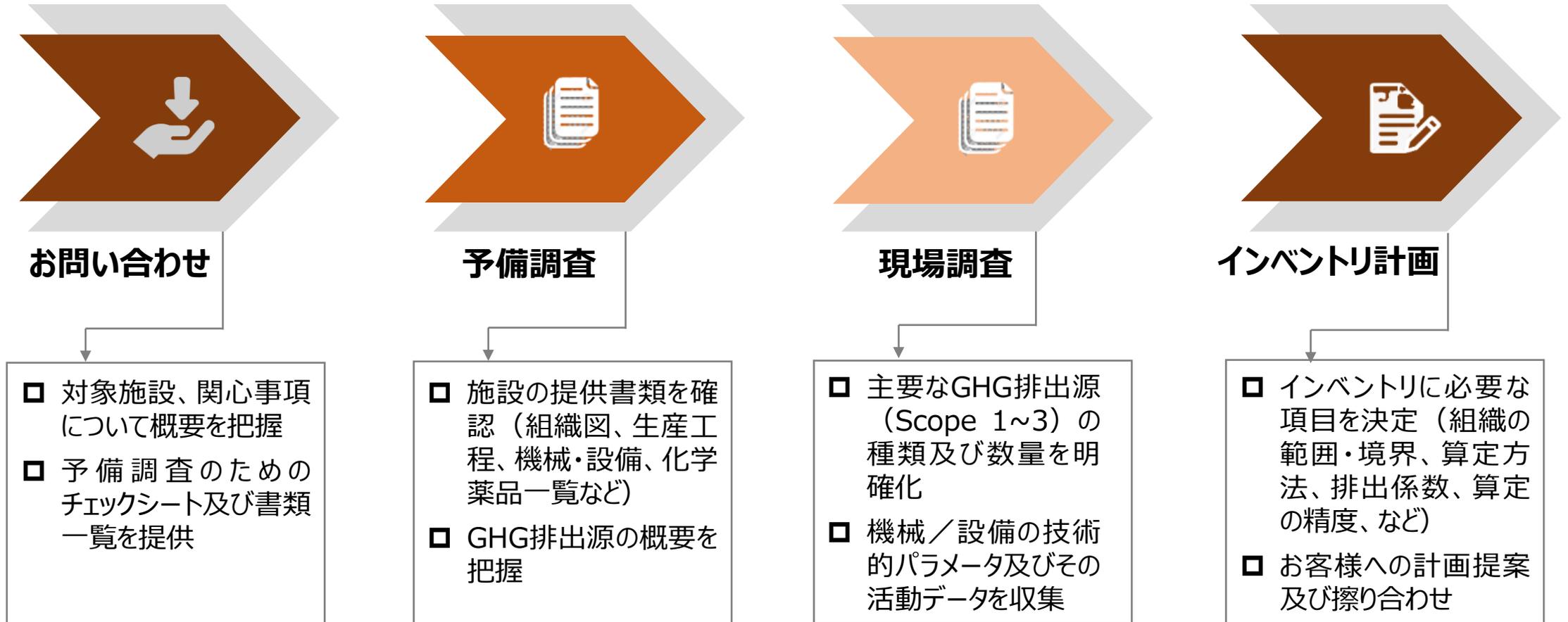
## **成果物**

- **GHGインベントリ報告書**  
(Báo cáo kiểm kê khí nhà kính)
- **GHG排出削減計画書**  
(Kế hoạch giảm nhẹ phát thải khí nhà kính)
- **GHG排出削減結果報告書**  
(Báo cáo kết quả giảm nhẹ phát thải khí nhà kính)

※ お客様の条件に合わせて、ベトナム法令（政令 06/2022/ND-CPなど）またはIPCC（2006、2019）、GHGプロトコール、ISO 14064-1などの国際的ガイダンスに従う。

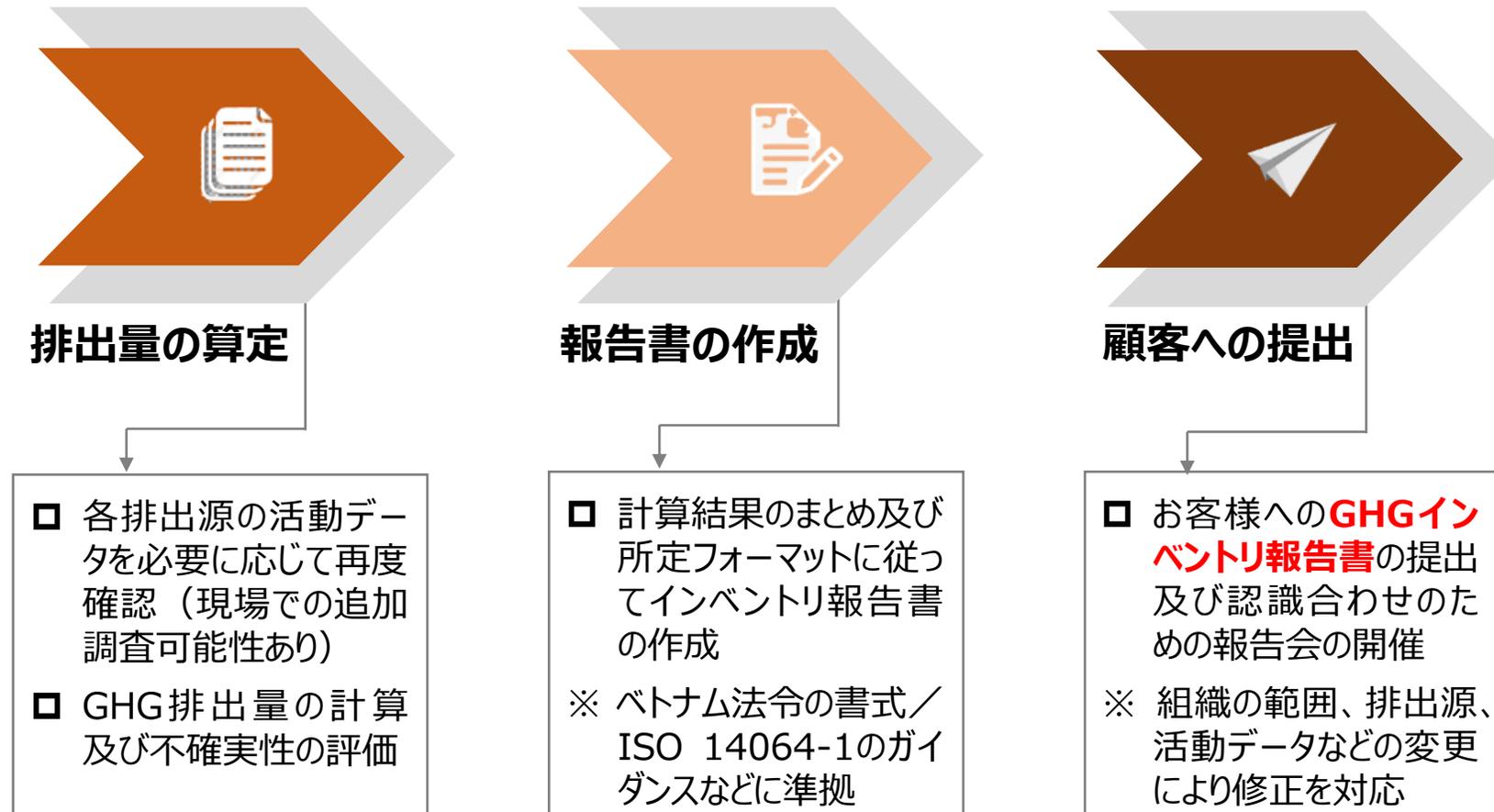
# GHGインベントリおよび排出削減支援サービス

## 1. 温室効果ガス（GHG）インベントリの実施



# GHGインベントリおよび排出削減支援サービス

## 1. 温室効果ガス（GHG）インベントリの実施



# GHGインベントリおよび排出削減支援サービス

## 2. 温室効果ガス（GHG）排出削減の実施

### GHGインベントリ 結果の分析

- 重点GHG排出源を特定（高い排出量、頻度など）
- 施設の製造・取引・サービス活動への影響範囲を分析

### GHG排出削減 対策の提案

- GHG排出源の除外・代替の技術的対策を選定（施設の活動への影響が低い対策、GHG吸収対策等）
- GHG排出削減対策ごとの効果の評価方法を提案

### GHG排出削減 計画の立案

- GHG排出削減の目標／排出量の割り当て、基準年、施設の通常発展シナリオ（BAU）などを決定
- GHG排出削減対策ごとの実施プロジェクトを企画
- 施設の**GHG排出削減計画**のモニタリング方法を提案

### GHG排出削減結果報告書

- ✓ 施設の活動範囲・境界
- ✓ GHGの排出源および吸収源
- ✓ 排出削減の目標、基準年、BAU
- ✓ 前期のGHGインベントリの結果
- ✓ GHG排出削減量の算定
- ✓ 当期の**GHG排出削減結果**の算定
- ✓ GHG排出削減対策の効果の評価、など

### その他のサポート

GHG排出削減計画の実施のサポート

定期現場検査

GHG法規制のモニタリング・個別調査